

平成30年度第1回胎内市行政改革推進委員会議事要約

- 開催日時：平成30年11月19日（月） 午後3時～午後4時45分
- 開催場所：胎内市役所 501会議室
- 出席委員：今井和彦 今井和子 鈴木俊一 富澤佳恵 成田武比古 布川拓男
橋本節子（敬称略）

1 あいさつ

- ・会長あいさつ
- ・課長あいさつ

2 議事録署名委員選任

- ・第1回の議事録署名委員は、鈴木委員、富澤委員を選任する。

3 第3次胎内市行政改革大綱実施計画の進行管理について

- ・進捗管理表の内容について説明
- ・事業見直しについて説明

委員 事業の見直しは急に出てきた話ではないと思うが、見直しはまだ一切出ていないのか。

事務局 まだ検討段階で、公表はしていない。

委員 2月くらいになれば、市のホームページなどにも公表するのか。

事務局 結果については平成31年度予算に反映させる内容になるので、概要については市民の皆様にもお知らせすべきものという認識である。

委員 進捗管理表の進捗状況のところ、29年度は終わっていながらなぜ「実施中」「検討中」になっているのか。また、30年度の取組実績・取組予定に具体性が無い。いつまでに、どのような形で、どういう人を対象にして、どういう内容でやるのか、いわゆる5W1Hが入っていないので、一般の市民には非常に分かりにくい。実際に職員がどういう内容で教育や指導を受けて、その効果はどうであって、10人いたところが8人に減った、改善提案が一人5件から10件出るようになった、というように具体的に書いてもらえないと、良い悪いの評価のしようがない。

事務局 細かいところまで書いてはいないが、目的については実施項目のところを見れば大体は分かっていただけのもと思う。結果については、例えば件数が何件増えた

とか、具体的な数値を出すのが難しいものもある。

委員 職員提案が出てきたら各課から報告させてまとめればいいので、難しいことはないのでは。どの部署が何件で、トータルで何件というのを掴んでおかないと、この部署からは何も出てないからちゃんとやれ、という指示もできないのではないかな。そういうことをやっていかなければ、フローを改善させて市の活性化や市役所の改革につながらないのではないかな。民間ではそうやってやってきている。

事務局 職員提案では、内部で挙がっているものは何件かあり、数字は掴んでいるが、どこまで出すかということもあるので、市民の皆さんに納得してもらえるような分かりやすい形で示していきたい。

委員 実施計画の進捗結果が示されている資料は、市民に公表するためのものか。

事務局 その通り。

委員 この結果に至るまでに庁内でもまれて、マッチングはとれているのか。

事務局 担当部署から情報を収集して作成している。

委員 これをまとめるバックボーンとしては、前回の第2次実施計画の進捗管理表と類似のバックデータがあるという理解でいいか。

事務局 様式は変わっているが、ほぼそれと同じ内容が記載されている。

委員 前の様式のほうが分かりやすいし具体的だ。担当課・係が入っているから、どこが活動しているというのがよくわかる。それらをバックデータとして確立しておき、要求があればいつでも示すことができる体制が必要と思う。

事務局 どの部署がやっているかと、数字を明確に出すことにしたい。

委員 個々の実施項目について質問したら、その回答はここに反映されるのか。例えば「4 施策形成における市民参画の機会の拡充」で、会議の公開や会議録の公開というのは市民協働のイロハのイで、やっていないのがおかしいわけで、なぜやっていないのかという疑問に対する答えが出てきたとすると、出来ていない理由が表に書かれるのか。

事務局 途中経過ということで公開する前提なので、今日皆さんの意見をいただき、内容を反映させた形で直したい。

委員 進捗管理表の1枚目で「H29 計画・H30 計画」になっているところが2枚目から「H29 計画・H29 年計画」となっているので、訂正をお願いしたい。それから、29年度に「実施中」となっているが、既に終わっているのに「実施済み」でなければおかしい。

進捗状況のところ、例えば「17 合理的で無駄のない予算執行」とあるが、職員向け財政状況説明会で歳出削減の必要性を説明したと、単にこれしか書いていない。このとき職員が何人いて、何人が出席して、どれだけの話をして、どうだったのかを具体的に示してもらわないと分かりにくい。財政が厳しい中で歳出削減をやっていくには市の職員が一番実施していく必要があり、その模範となる姿を市民が見てやっていくというのが本来でないかと思うので、具体的に示してもらいたい。

座談会をどういうふうにしていくかということでは、座談会も大事だが、その前に各集落などから要請・要望は陳情の形で上がっていると思う。今年度から中山間地において特例債（事務局註：辺地を対象とした辺地対策事業債。元利償還金の80%が地方交付税の基準財政需要額に算入される）が出ていると思うが、そういう予算を活用すれば、金がかかる内容だとしても出来る部分もだいぶあるのではないか。ロイヤルパークホテルとか樽ヶ橋の施設に投入されているというのを噂で聞いている。そういうものを活用していても市民の目には見えていないので、市民の目に見えるようにしていかないと、財政が厳しいといっても市民には納得できないと思う。また、そういう国の予算などを活かす恰好で進めていってはどうか。

事務局 市民協働で事業を進めていくためには、市民の皆さんと我々と、同じ情報を持った中で話し合いをしなければ話し合いにならないので、出せる情報は出して、情報共有した中で進めていきたいと思う。

委員 話し合いをするのは非常にいいことだと思う。ただ、それに対してどう答えていくかが一番の問題。財政が厳しいからあれもこれもダメということではうまくないし、特例債などの財源が利用できる地域であれば、利用した中で進めるのは大事ではないか。

委員 「24 職員による改善提案の活性化」の取組内容は改善発表会を視察したとなっているが、平成 17 年 9 月制定の胎内市職員の提案に関する規程、平成 22 年 7 月制定の胎内市職員のひらめき・アイデア応援制度試行要綱というのが既にあるのだから、視察をしなくても、この通りやればいいのでは。えらく難しく考えていないか。ロビーの画面に、今日の会議は 501 会議室、と表示されるようになったのも、具体的な改善提案ではないかと思う。細かい積み重ねだと思う。とにかくやればいいのでは。

事務局 おっしゃるとおり、制度としてはこれまでもある。17 年の職員提案の規程については、敷居が高く意見を出しづらいというようなところで、意見が出てこなかった。ひらめきアイデアのほうは、パソコンで掲示板に書き込める制度も作り、気軽に提案してもらいたいということであったが、匿名性のところでうまくない意見があったりして運用に苦慮したという経緯がある。それに替わるものということでこの計画に上がっている。職員に対して組織改編の意見を募集するなど、テーマを設けた中での提案募集は別途やっているが、行政全般について一般的に募集というところがなかなかうまくいっていないので、早急に形にしていきたい。

委員 今年の 4 月に新潟食料農業大学が開学した。市も補助金を出しているはずで、財政の基金を取り崩している中、将来への投資として長い目で大学の動きを見ていかなければならないと思うが、11 月に大学祭もあったが、そういう情報が一切入ってこない。学生が来て学んでいることや、胎内市の子弟が何人入学しているといった情報は、市が大学へ働きかけて市民に PR すべきだと見ていた。市民協働で連携ということでは、そういう情報をもっと出していくべきだと思う。胎内市に大学が

あることを知らないという人も結構いるのではないかと。補助金を出した立派な教育施設なので、市民にもう少し動きが見えてもいいのではないかと。と思う。

事務局 食料農業大学には、29年度から4年に分けて総額で1億5000万円の補助金を交付する。何をやっているか伝わってこないということだが、実際には、坂井と鼓岡で無農薬米栽培、休耕田でマコモダケ栽培、地場産農産物等の販売所を作ったり、ぶどう畑での作業体験、三八市への出店など、地域の皆さんや地域おこし協力隊と一緒にいろいろな取組をしており、新聞にも取り上げてもらっている。ご存知なかったとすれば我々のPR不足と真摯に受け止め、強化していきたい。

委員 進捗状況は一般市民に公表するということが、SNSで発信するのか、どういう形で市民に見てもらえるのか。

事務局 ホームページに掲載する予定。市報にはホームページで公表しているということ載せ、ホームページのほうを見ていただくことで考えている。

委員 働き盛りの忙しい世代は、ホームページまで見る余裕や時間があまりないと思う。その辺をもう少し見てもらえるように工夫してもいいと思う。例えば市報に、重要と思われることを連載で載せるなどしてもいいのではないかと。

事務局 まず全文をホームページに掲載することが基本だが、それを見る人が何人いるのかということもあるので、伝達の仕方を工夫したい。パソコンを使わない人もいるが、市報が一番有効で確実な手段だと思うので、考えてみたい。また、市役所や図書館の行政情報コーナーでも当然見られるようにする。

委員 進捗管理表について、口頭で説明のあったインスタのフォロワーの数字とか地域おこし協力隊の人数など、加えられる部分は加えてもらいたい。

事務局 そのようにする。

委員 指定管理制度については、財政が厳しいのでこの制度を取り入れて、施設の管理・運営は市の職員でない人をお願いするということが増えていっていると、そういう姿勢を感じるのだが。

事務局 指定管理は、本来行政がやるべきことは何なのかということに立ち返って、例えばホテル経営が市の職員がやることなのか、そのほかについても、民間でできることではないか、民間でやったほうが効率的に運営してもらえないかという事業に対して、やっていただけの方があればやってもらったほうがいいのかという観点で検討して導入しているものであり、決してお金がないから民間に任せれば安く済むということでやっているものではない。

委員 ボランティア活動の団体が市内に結構あるが、市でもボランティア団体を有効に活用して、市民協働の形で市の職員も一緒にやる、そういうスタンスで行政改革を進めていけばいいのではないかと考えている。

事務局 そういう方向で考えていきたい。樽ヶ橋遊園の環境整備にボランティアに協力いただいている例のように、どうしても行政がやるということではなく、市民の皆さんを巻き込んでやっていくことで皆さんもやりがいを感じるということもあると思う。

ので、ボランティアでやっている方がいれば、どんどんお願いして一緒にやってくることができればと思う。

委員 座談会はすごい取組だ。また、開催時間を見ると、携わっている職員はすごいと思う。意義あるものにするには課題もあると思うが、市長の強い思い入れを資料を見て感じた。

事務局 市民の皆様も仕事を持っているということで、開催時間は平日は6時以降で土日もやっている。市民協働ということで、おいでいただく市民の皆さんのことも考えながら、開催方法については考えていきたい。冒頭に手探りの状態でやっているという話をしたが、是非委員の皆様からも、こんな方法でやったらいいんじゃないかということなどがあれば、随時ご連絡いただきたいと思う。

委員 進捗管理表にはどこの課が担当したというのが書かれていないが、元の実施計画のところには課が書いてある。各課というところに具体的にどういう課が列挙されるのか、バックデータをあとでもらいたい。要は全課全職員で取り組む行革になっているかを確認したい。

4 その他

・行政評価外部評価の実施案について説明

委員 外部評価の評価シートは、いままでの行政評価よりも、庁内で厳しく評価したアウトプットなのか。

事務局 事業見直しの部分は入っていない。総合計画の施策の目標などから達成度を出したものになる。

委員 行政評価はあくまでも今までやっていた行政評価で、事業見直しはこれとは別のものということ。

委員 総合計画のやりかけがどうなっているか説明したのが、評価シートということか。

事務局 総合計画が29年度にどれだけ進んだかを記述したのが施策評価シートになる。

委員 進捗状況はこうだという話からこれではだめだといってもだめなのであれば、何を意見すればいいのか。

事務局 外部評価では、29年度の取組状況までしかお示しできない。今後の方針のところまで記入されていたのがこれまでだったが、事業見直しの中でいつもより厳しめに検討しているのがこの部分であり、記入すべき内容は庁内で検討を進めているので、重複してやることができないといったところでご理解いただきたい。

何をご意見いただきたいかというところでは、29年度の取組をご覧いただき、その状況について率直なご意見、これはもっとこうしなきゃいけない、なぜこうしないのか、ここまでやる必要があるのか、効果があるのかなど、ご覧いただいて感

じたことをご意見いただければと考えている。

委員 今年度は事業見直しが2月くらいに出てくるので、外部評価よりも厳しい判断として、削減や止めていくものがきっと出てくる。外部評価で、これはいい取組なので残してもらいたい、という意見を出したとしても、事業見直しでもっと削減されている可能性も高いということか。

事務局 できるものはやらなくてはならないとは思いますが、できないということであれば、丁寧な説明が必要になると思っている。皆さんから出る話は当然市民の方も思っていることが多いと思うので、市民の方に説明する責任はある。まず、意見としていただければと思う。

委員 極力、資料を早めをお願いしたい。

委員 評価シートは、抽象的な表現でなく出来るだけ具体的な表現にしてもらえよう、配慮をお願いしたい。

- ・ 行政改革推進委員の任期は12月31日まで。
委員を交代する場合の新しい委員については、市で選定する。
委員の公募については、12月1日号の市報・市ホームページにおいて告知する。
- ・ 新しい行政改革推進委員による初回の会議は来年2月頃に開催する予定。

以上